2023 年度 学校法人 三幸学園 東京みらい AI&IT 専門学校
自己評価報告書

自己評価報告責任者 ： 副校長 飯島英和

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、AI･IT 分野の学校として「AI･IT を通じて日本を明るく元気にする」と言うビジョンを掲げ、「AI･IT を通じて人に感謝され、持続可能な社会に貢献できる人材を育成する」といった人材育成方針を掲げている。また、「社会で活躍するために、専門分野における新しい知識や技術の習得に努力を惜しまない人」「素直な気持ち、感謝する気持ち、思いやりのある人」「自ら未来を切り開いていこうとする情熱と夢を持ち続け、仲間と協力して目標を達成しようと努力する人」をアドミッションポリシーとして掲げ、その実現に向けて生徒指導を展開している。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

◇教務

・通常授業の遅刻・欠席者を減らし、いるべき場所・時間にいることを当たり前にしていく。

・退学率 10%以下を目指す。⇒結果10．6%であった。特に 1 年生の退学を減らしていきたい。

◇就職

・1 年次から短期インターンシップへの参加を促し、2 年次前期末までに50%の就職決定率。
卒業時までに100%の就職決定率を目指す。⇒現状今年度は31%の内定率。

◇広報

・入学者増員を目指す。入学実績は 2021 年度 65 名、2022 年度 95 名、2023 年度 100 名。
⇒2024 年度 148 名まで入学者増。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務･財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

◇Sankogate の活用や、生徒の活用状況が向上しきれておらず、自ら情報を取りに行く習慣がない生徒もいる。特に留学生にこの傾向が顕著にみられる。

② 今後の改善方策

◇教科担当とのコミュニケーションツールとして Teams を有効活用する。

◇学校においても生徒への発信や通知の仕方を統一する等、検討する。

③ 特記事項

◇生徒への情報共有に Sankogate というシステムを使用しているが、生徒への浸透度合いにムラがあり、確実に生徒へ情報が伝わっていないことがまだ散見される。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

◇在校生・保護者の専門学校での学びの特色、特徴や学校教育方針の理解・浸透の強化。
現場力・実践力・社会人基礎力向上を目的とした学内授業と現場実習の連携強化。

② 今後の改善方策

◇年度末に新入生保護者説明会の実施。
◇育成人材の教室貼り出し。

③ 特記事項

◇学園内の姉妹校と比較しても、入学者の属性（高校種別、生活状況）などについて特徴があり、
入学時に通学・学校生活に不安を持つ学生が多い。
入学前の保護者説明会にて質疑応答含め丁寧に対応し、入学後の不安を取り除けるようにしている。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成･実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育･実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫･開発などが実施されているか	4
関連分野の企業･関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成･見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技･実習等）が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施･評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価･単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務･兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識･技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

◇1 年生夏休み段階で就職活動と連携したインターンシップへの促しが不足している。
1 年生から 2 年生に進級する際の就職活動において、早期の活動が促進できていない。

② 今後の改善方策

◇学内企業説明会に参加いただく企業と回数の拡大。
◇ビッグネーム、大手企業からの求人獲得や関係作り。

③ 特記事項

◇就職活動のスタートがやや遅れた傾向にある。大学生等と就職活動が競合していくため、後れを取らないように1年時の夏頃からインターンシップなどに参加すること等に注力して指導していきたい。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格（免許）取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

◇就職率向上への取り組み。退学防止への取り組み。卒業生のサポートの充実。

◇業界・企業との人材育成・キャリアアップシステムへの理解を深める。

◇各資格合格率、及び受験率の向上。

② 今後の改善方策

◇保護者連携を図り、就職活動を促進させる。

◇検定対策や補講等の対策を充実させる。

③ 特記事項

◇今年度も前年度卒業生を対象とした同窓会を予定・準備している。

◇日本語学校からの留学生の入学者も増えてきているため、入学後も出身の日本語学校との連携も継続して情報共有をし、指導を進めていく。

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路･就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校･高等専修学校等との連携によるキャリア教育･職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

◇高校等に対し、キャリア教育等、高校連携を実施。

② 今後の改善方策

◇キャリア教育･職業教育について高校に訪問し、職業の説明等を実施する。

③ 特記事項

特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設･設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2
防災･安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

◇学外での研修等の活動がまだ希望者少なく実施まで至っていない。

② 今後の改善方策

◇今年度も継続して海外研修の希望者を募り実施に向け案内をしていく予定。

③ 特記事項

◇海外研修は現在、シリコンバレーを予定している。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算･収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算･収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023 年度～2027 年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

◇積極的な地域貢献活動の実施

② 今後の改善方策

◇在校生も含めて姉妹校と連携し、地域貢献活動に参画できるよう準備を進めていく。

③ 特記事項

◇地域の活動には現状まだ参画できていない。今後は地域貢献の意味合いも含め活動を活性化させていきたい。

（11）国際交流（必要に応じて）

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

◇コロナにより留学生受け入れに関する動きがあまりなかった。

② 今後の改善方策

◇各日本語学校の訪問を強化し、入学生獲得に努めていく。

③ 特記事項

特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

⇒各委員の皆様より引き続き適切な学校運営に努めていただくようご挨拶をいただき閉会

・今後も専門学校と日本語学校の連携を深めていきたい。【平井委員】

・卒業生も毎年増えていくと思うので、特に就職支援については全員希望の企業に就職が叶うようにご指導をお願いしたい。【岩淵委員】

・現場で求められるスキルは日進月歩で進化しているので、企業としても最新の情報含め専門学校ともしっかりと連携していけるように尽力する。【高橋委員】